

古河市第8地区コミュニティ誌

第4号

(令和5年3月10日発行)

発行：第8地区コミュニティ

編集：第8地区コミュニティ広報委員会

【第8地区コミュニティ構成行政区】

上大野 小堤 リバティヒル135

稲宮 関戸 新町

第8地区コミュニティ会員世帯数

1,820世帯

岡郷だより

第8地区は旧岡郷村の地域に相当することから「岡郷だより」と名付けました。

第8地区コミュニティは、第8地区の住民相互の交流を促進するとともに、地域に存在するさまざまな課題等を自主的、主体的に解決を図り、ふれあいのある住みよい地域づくりに寄与することを目的に設立されました。「岡郷だより」は、この目的を達成するための広報誌です。

令和5年度 第8地区コミュニティ新役員

第8地区コミュニティ新会長ごあいさつ

令和5年度第8地区コミュニティ会長に就任いたします諏訪 忠です。コミュニティ会長と言っても、右も左もわからないことばかりです。この一年間が勉強だと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。



会長 諏訪 忠

この3年間は新型コロナウイルス感染症対策の為、計画をたてた事業がほとんど活動されていないのが現状です。

現在のところ、新型コロナウイルス感染症に対して、国の方針も緩和されていくようですが、令和5年度はコミュニティとしても、何とか事業活動が出来るように、第8地区の役員の皆様のご協力をいただきながら第8地区コミュニティ役員一同活動再開を講じて参りたいと思います。

事業開催の際には、第8地区内にお住いの皆様のご協力とご参加をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

役職名	氏名	行政区名
会長	諏訪 忠	小堤
副会長	小久保 幸一	上大野
副会長	諏訪 稔	稲宮
会計	尾沼 卓	リバティヒル135
理事	荒木 精一	稲宮
広報委員会	広報委員	峰 正 関戸
	広報委員	林 健治 関戸
	広報委員	尾沼 卓 リバティヒル135
監事 (会計監査)	芝山 秀夫	新町
監事 (会計監査)	関 定雄	関戸

「岡郷だより」は、ふれあいのある住みよい地域づくりに寄与するため、第8地区の地域情報を年1回3月に発行しお伝えしています。第8地区コミュニティでは、地区の事業者様に発行賛助金を募集し、ご賛同いただいた事業者様名を「岡郷だより」に掲載させていただき読者に紹介させていただきます。ご希望の事業者様は、令和5年度広報委員（尾沼）までご連絡をお願いします。

(発行賛助金額は、3,000円をお願いしております。)

広報委員 尾沼 卓
0280-98-1317

各 行 政 区 の 活 動 状 況

上大野行政区

令和4年度も前年度同様にコロナ感染症の影響により事業計画が思う様には進まず月日が流れた様と感じました。

行政区活動は集落センター内にある粗大ゴミの集積所に処理困難物の“持ち込まれ対策”として防犯カメラ及びセンサーライトの取付けを行いました。工事の期間に

門扉工事も追加され令和4年4月28日取付け完了しました。その他上大野観音堂修繕工事、集落センター床の補強工事、三社神社本殿の床の補強工事を5月10日に完了の運びとなりました。行政区地内の不法投棄物対策の依頼を受け、地元意見を取り入れたフェンス設置を評議委員会で可決し、10月25日設置完了しました。後日見回りの結果、防御効果の成

功を確信いたしました。

また、三社神社恒例の行事においては、11月19日の秋の祭礼、令和5年元旦の初詣では新型コロナウイルス感染症対策の中、神社当番、町内会の皆様、氏子の皆様のご協力により無事開催することができました。「早期にコロナ禍が終息し、マスク着用無しの状態で笑顔が見たい。」私の今の心境です。（区長 小久保幸一）

小堤行政区

令和4年度も前年度同様に、年間10回開催している役員会もコロナ感染症対策のため縮小して開催しました。5月には自主防災会で毎年行っている防災備蓄品の点検をした結果、本年度は期限切れ

の備品がほとんどで、全備蓄品の総入れ替えとなりました。本年度の事業計画にはなかったのですが、集落センターが落成して約40年になりました。「ホールの床にワックス掛けしたらどうか。」と声上がり、コロナ感染症対策を徹底して行いワックス掛けをし

ました。これで床の掃除もしやすくなったと思います。役員の皆様ご苦労様でした。

また、カーテン更新と網戸張替の見積りを取って、来年度に予算化したいと思っています。（区長 諏訪 忠）

リバティヒル135行政区

令和4年度もコロナ禍の中、新型コロナウイルス感染症対策上、3密を避けなければならないことから屋内における行事はほとんど中止をせざるを得ない状況でした。このような状況下、屋外における事業活動の検討を行い、夏祭り及び敬老事業に替えた初めての「ふれあいの集い」を企画しました。当初、令和4年9月24日（土）開催予定のところ、台風第15号の影響により急遽9月25日（日）に変更して開催しました。この集いは年少者から高齢者まで全ての世代

がふれあえることを目的に、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながらリバティヒル135行政区公園を会場に開催しました。

古河ジンカーズの素晴らしい演奏に聞き入った後、輪投げ、ペタンク、モルックの各競技を各世代混合編成チームの対戦形式で行い、参加者は珍しい競技に夢中になっていました。また、各種ゲーム（お手玉、メンコ、おはじき）及びグラウンドゴルフの試し打ちコーナーでは、各世代共に和やかにふれあいを楽しんでいました。（区長 尾沼 卓）



古河ジンカーズの素晴らしい演奏です！



「輪投げ」って楽しいね!!

稲宮行政区

コロナ感染症の影響により、令和4年度の事業計画のイベント等のほとんどが中止となりました。そのような状況の中でも、感染拡大防止対策を講じながら昨年引き続き令和4年12月17日（土）「防災講座」を古河市消防防災課より2名の講師を派遣していただ

いて開催しました。講座参加者は、行政区役員、班長、他各役員が出席されました。

近年大地震や水害など、災害の大きさ、発生回数の多さが目立って来ている中で一人ひとりがどう行動出来るか、自らの安全を確保することの大切さなど再認識しました。

今後も、このような防災訓練を



有意義な「防災講座」でした

継続して行っていきたいと思います。（区長 荒木 精一）

新町行政区

平成27年に設立した新町行政区のグラウンドゴルフの活動についてご紹介します。

現在、会員は18名で、毎週木曜日と日曜日の2回実施しています。規模としては、10ホールを2回プレーして概ね1時間かかります。男女別に月間賞（ホールインワンの毎月最多数を出した人への賞。）を定め、同数の時はプ

レーオフで勝敗を決めています。令和2年2月頃からの新型コロナウイルス感染症による各行事中止自粛の状況下においても、今日まで休みなく継続してこられたことは、会員の皆様が日頃から感染症予防対策に留意していたからこそと感謝申し上げたいと思います。今後も健康と親睦と和楽を第一に、グラウンドゴルフを続けて行こうと全員が決意しております。

（新町行政区
グラウンドゴルフ会長 齋藤 正）



準備運動は念入りに！



健康と親睦と和楽を第一に

関戸行政区

令和元年12月に中国で発生したと思われる新型コロナウイルス感染症の影響により、市主催の各種行事が中止になっておりましたが、令和4年度は3年ぶりに6月5日上大野グラウンドにて古河市行政自治会親善ソフトボール大会が開催され、関戸行政区は参加しました。

若い方から年配の方まで19名の多数の参加をいただき大変光栄

に思いました。過去の試合での優勝経験者も数名おり、攻守にわたるプレー及びチームワークにより白熱した試合を制し見事に優勝を勝ち取ることができましたので、感激に堪えませんでした。

コロナの感染防止策を図りなが



ナイスピッチ!!

ら少人数による慰労会も開催することができ、参加者の皆様と行政区役員とのコミュニケーションを図ることができ、大変喜ばしく思いました。

その他、バレーボール大会にも参加すべく参加者を集めました。突然中止となり、大変残念に思います。早く新型コロナが終息し各種イベントが開催されるようになることを期待いたします。

（区長 関 定雄）

第8地区ボランティア活動の紹介

上町内ぶらぶら探検隊

みなさん。私たち「上町内ぶらぶら探検隊」の始まりは、平成28年3月です。当時私が町内会長で1年間を終えようとしていた3月の町内会総会で創設を発表しました。同じ町内会に暮らす皆さんと「元気に・安全に・楽しく」過ごすため、上町内会の行事ではなく、勝手連的有志による活動を始めました。当初その活動概要は、原則上町内住人の参加により会費なし、イベントとしてお花見、歴史調査、まち歩き、家宝自慢、宴、旅行、環境美化、お年寄り訪問などを想定していました。

実際には、コロナ禍以前に7回程開催しました。毎回10人未満の参加者でしたが楽しく活動できました。

そんな折、令和4年3月に古河市「丘里グリーンベルト内の花壇ボランティア」の募集を見て、すぐ近くの場所であり、さっそく市に問い合わせ活動の準備に取り掛かりました。

古河市「丘里グリーンベルト内の花壇ボランティア」活動で元気です!!

古河市では、公共施設への親しみや地域の絆を醸成するなどの目的で「丘里グリーンベルト内の花壇ボランティア」を実施しています。活動の主な内容は、年間を通じて花壇の花植え、水やり、除草等の維持管理です。みなさんもお覧になったことがあると思いますが、多くの団体が参加しているようです。

私たちはすぐ近くに住んでいるので、活動しやすくお花も毎日眺めることができます。

「みなさん、一寸の時間（週に1時間程）地域のために費やすことは如何でしょうか？」とボランティアを町内会に回覧で募集しました。賛同していただける方が20人弱集まり、花壇ボランティアをはじめました。

（関戸）上町内ぶらぶら探検隊
（世話人 関口 吉男）



ボランティアの主なメンバー



夏の暑さを和らげるように青いサルビアを7月10日に植え付けました！

パトラン古河チーム

パトランは平成25年1月8日に福岡県宗像市で活動をスタートし、全国に広まりました。「パトラン古河チーム」は令和3年2月28日に全国16番目のパトランとして公式チームに昇格しました。

パトランとは防犯パトロールとランニングを掛け合わせた造語で、地域の安全を守る今までにない防犯活動です。

「パトラン古河」の歴史は、平成29年に代表の諏訪和男さんが一人で活動を開始し地道な活動を継続する中で、「パトラン」を知り活動に共鳴し活動を続けていると、共感する仲間が増え構成メンバーは現在61名になっています。

「パトラン古河」は三点を重点に活動しています。

①『犯罪抑止』

車両の入りづらい路地、空き巣被害がある住宅街、子供が被害に遭いやすい場所、女性が被害に遭いやす



パトラン古河チーム

PATOROL RUNNING
防犯ボランティア団体 パトラン JAPAN

パトランの理念「日本のこれからの防犯活動のあり方を変える新しいスタイルの防犯パトロール。パトランに取り組むみなさん一人ひとりが主役となる活動を。」

パトランの取り組み「安心安全な社会の実現のためには、地域に人の目をつくることだけではなく、犯罪を起きにくい快適な環境づくりや子どもたちへの対応、市民への防犯啓発に交通安全など幅広い活動が必要であると考え。」

い夜間などにランニングやウォーキング、パトワン（犬の散歩）を行い、「すれ違う人たちの目を見て挨拶」をすることにより活動している地区には「地域の目がある」ことを認識してもらい、犯罪予備軍を未然に防ぐ「見せる防犯」で犯罪抑止に努める。

②『星屑救出』

パトランではごみ拾いのことを「星屑救出」と呼んでいます。「ごみの多いところは犯罪が増える傾向がある」と全国統計や他の機関統計でも知られていると思います。そこに注目し、毎週定期的に特定の場所での星屑救出を行い、環境美化、治安維持などがつながるように活動をする。

③『街の異変の早期発見、早期改善』

「道路の凹み」「街灯の球切れ」「その他の異常、異状」などを発見した場合、迅速に関係省庁に連絡し、早期に改善を行ってもらい、安全で住みやすい街の実現を目指す。「みなさんもパトランをやってみませんか。入会金、会費はなしですが、ユニフォームは購入していただき着用をお願いしています。」とのこと

詳細は、「パトラン古河チーム」ホームページをご覧ください。
代表 諏訪 和男 (古河市小堤1737-3)
<https://patorun-koga.localinfo.jp/>
(広報委員 尾沼 卓)

「パトラン古河チーム」代表の諏訪和男さんに古河警察署長から感謝状が贈られました

防犯ボランティア団体「パトラン古河チーム」代表の諏訪和男さん（小堤在住）に令和4年3月31日、古河警察署長から市内の安全活動に深く貢献した功勞に対し感謝状が贈られました。さらに、10月14日には、一般財団法人JP生きがい振興財団理事長から地域と警察の信頼関係を一層強め安全な地域社会づくりに寄与した功勞により、地域安全功勞賞が贈呈されました。

諏訪さんは、平成29年から一人でランニングをしながらパトロールを始めました。このような中、インターネットでパトランの活動を知り、活動内容に共鳴し活動していると共感するメンバーも増え、令和3年5月にパトランJAPANの公認チームに昇格し「パトラン古河チーム」として活動するに至っています。

メンバーは令和5年1月16日現在61名が所属しており、「今（インタビュー時）もこの時間、メンバーの誰かはランニング、ウォーキング、パトワン（犬の散歩）をしているんです。メンバーがすれ違う人たちの目を見て挨拶をすることにより地域安全と犯罪抑止に効果を上げていていると思います。」と活動記録を確認しながら熱く語っていました。さらに、「茨城県内全域に「パトランチーム」が結成されるのが夢です。地域安全のために広めたいです。」と諏訪さん。（広報委員 尾沼 卓）



諏訪和男さん

岡郷人

22年間民生委員児童委員を務められた岩本久枝さんがご勇退されました

民生委員児童委員を22年もの長きにわたり務められた岩本久枝さん（小堤在住）が令和4年12月ご勇退されました。

令和3年には民生委員児童委員功勞者表彰（在職20年以上）を全国民生委員児童委員連合会会長より表彰されました。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱されその地域において住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い社会福祉の増進のお手伝いをし、さらに児童委員として地域の子供たちが元気に安心して暮らせるように、子供たちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行っています。

民生委員児童委員には平成11年12月に採用になりましたが、きっかけは近所の方からご主人が引継ぎを受けたのですが、ご主人は仕事が忙しかったことから、ご主人から引継ぎを受けたとのことでした。

「初めてお伺いした方と親身になって色々話ができるまでには3年位かかりましたが、打ち解けてからは色々お話ができるようになりました。このような経験が22年間続けられたのでは。」とお話されていました。

「今後は、障害者福祉、児童福祉、社会福祉のボランティア活動やりたい。」と思いを語る岩本さんでした。

(広報委員 尾沼 卓)



岩本久枝さん

賛助金のご報告

「岡郷だより」第4号の発行に際しまして

株育峯紙業 様

株エイ・アイ・エス 様

より賛助金のご協力をいただきました。

編集後記「岡郷だより」第4号の発行を迎えました。第3号発行時は、新型コロナウイルス感染症感染状況が第6波の時期でした。今回は第8波終盤を迎えている気配がしますが、このままコロナ禍終息に向うことを祈るばかりです。

令和4年度広報委員会
広報委員 関口 哲男
広報委員 印出 勝男
広報委員 尾沼 卓